

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要				
事業開始年度 平成57年度～				
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	根拠法令・例規等 備前市立公民館設置条例第1条
	中項目	基本施策	02 生きがいあるまちづくり	
	小項目	施策	04 公民館	
事務事業名			04 日生地域公民館運営事業	このシート作成に要した時間 6.0 時間
問	担当課(室)	日生地域公民館		
合	職・氏名	主査・大西 太平		
先	電話	0862-72-1006		

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	日生地域を中心とした備前市民及び使用を希望する人
目的(何のために)	日生地域を中心とした備前市民の教育・学術及び文化の普及及び向上につとめる。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	日生地域を中心とした備前市民に対して、文化的教養が豊かになり、親睦交友が深まることによって、住みよい町づくりの推進に役立つことができる。

事業の目的、対象、内容を考えて、妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
日生地域公民館運営事業	日生地域を中心とする住民に対し、教育、学術文化に関する各種の事業を行う。	
目的を達成するための実施した事業	市民講座 備前市民に対し、教育・教養の向上、生活文化の振興を目的として「親子チャレンジ隊」、「四季の星座教室」、「おもしろ宇宙実験教室」、「英会話教室」(講座参加人数283人)「文化事業鑑賞会」(平成21年度は、クラシック音楽鑑賞会を行った。入場者数420人)を行った。	
文化祭	日生地域住民に対し、日生地域公民館で恒例の日生文化祭を開催し「日生文化協会会員等の作品展示」(出展者234人)、「日生文化協会会員によるグループ発表会」(出演者222人)、ヨガ体験コーナー(参加者110人)、茶道会(来場者200人)模擬店(焼きそば、ちらし寿司販売)等を行った。	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		4,591	2,220	2,148	
	必要人員(人件費)	千円	1.05人	9,581	1.53人	12,105
	事業費		14,172	14,325	7,596	
	国県支出金					
	受益者負担		559	663	464	
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		13,613	13,662	11,311		
受益者負担比率	%	4.0%	5.0%	4.0%		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標量	人	18,034	14,090	14,080	
	対前年比	%	-	78.1%	99.9%	
	活動コスト	円	6,429,000	9,137,000	9,584,701	
	単位当たりコスト		356	648	681	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	目標値(A)		1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値(B)		880	923	703	到達目標値
	達成率(B/A)		88.00%	92.30%	70.30%	1,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
文化鑑賞会参加募集(日生市民会館ホール収容人員)700人と市民講座参加募集(3講座×20人×5回)300人の年間参加人数実績合計を成果指標とした。						

事務事業の評価		妥当性の評価	市民ニーズ	効率性の評価	目的達成度	市民参画度		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	妥当性評価 <A-E> C	効率性評価 <A-E> C	有効性評価 <A-E> C
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	妥当性評価 <A-E> C	効率性評価 <A-E> C	有効性評価 <A-E> C		

留意事項
事業の目的、対象、内容を考えて、妥当性の評価を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況									
説明	各種公民館講座、日生文化祭等開催についての参加者を広報・ひなビジョン・新聞折り込みチラシ・町内放送等で情報を提供することによって、成果指標達成率を80%台になることをめざしたい。								

総合評価		評価区分<A-E>	妥当性
施設利用状況として、日生文化協会を中心としたグループ活動による定期的な施設使用があり、毎年行われている日生文化祭では文化協会会員による日頃の文化活動の成果を「展示・舞台でのグループ発表」で披露する機会・場を提供しているが、日生文化協会会員に偏っている傾向にある。公民館講座として「英会話教室」の受講者が募集人数より少ない傾向にあるので、参加者が増えるよう募集したい。文化事業鑑賞会では、クラシック音楽鑑賞会だけでなく、他の文化事業鑑賞会も視野に入れた開催を考える必要がある。		C	妥当性 C 有効性・効率性

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性									
取組目標	日生地域公民館の運営については、施設利用者の要望を取り入れながら、日生文化協会を中心とした地域の文化活動、公民館講座を活性化させるための情報提供を行う。広報・ひなビジョン・町内放送等を活用し、備前市内の各公民館と連携しながら、公民館運営事業についてピーアールしていく。								